

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C	D	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護	学期	学 習 内 容	時数	
教科名	国語		科目名	言語文化															
単位数	2	学科	看護科	学年	1年	該当するコース・科 →													
教科書・副教材・(発行所)																			
① 教科書：新編言語文化（東京書籍） ② 問題集：新編言語文化 学習課題ノート（東京書籍） ③ ④																			
学 習 の 重 点 目 標																			
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深める。論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手として自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。																			
知識・技能			思考・判断・表現						主体的に学習に取り組む態度										
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 教科書・副教材の内容を中心に作問			①学習課題ノート・課題プリント 単元毎に学習課題ノート・課題プリントを実施						①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 プリント・副教材 ③自己評価・振り返り 小テストや考査後に自己評価や振り返りを実施									
	②小テストの出来具合 授業で学習した内容・漢字についての小テストを実施			②意見発表の内容 学習活動の中で、考えを深め意見を発表する活動を実施															
評 価 の 基 準																			
A (十分満足できる状況)			B (概ね満足できる状況)						C (努力を要する状況)										
			B+			B-													
知・技	定期考査と小テストで80点以上の得点である。			定期考査と小テストで55点～79点の得点である。			定期考査と小テストで30点～54点の得点である。			定期考査と小テストで29点以下の得点である。									
思・判・表	知識や体験を基に、表現したいことを明確にし、自分の体験や思いが伝わるように的確に表現することができる。			知識や体験を基に、表現したいことを明確にし、自分の体験や思いが伝わるように表現することが概ねできている。						表現したいことを明確にしたり、自分の体験や思いが伝わる表現をしたりすることがあまりできていない。									
	レポート作成やグループワーク、意見発表を通して、的確に批評、論述、発表、討論、批評などができる。			レポート作成やグループワーク、意見発表において、論述、発表、討論、批評などができる。						レポート作成グループワーク、意見発表において、論述、発表、討論、批評などができる。									
主体性・態度	常に粘り強く学習に取り組み、グループ活動においても積極的に発言することができる。			真面目に学習に取り組んでいるが、積極性を要する部分がある。						主体的に学習に取り組むことがあまりできていない。									
	振り返るべき内容を考えて表現し、次の取り組みに活かして自己を向上させることが継続的にできている。			振り返るべき内容を考えて表現し、次の取り組みに活かすことが概ねできている。						振り返るべき内容を考えたり表現したりすることだできておらず、自己を向上させる姿勢が見られない。									
総 時 間 数																			
																		67	

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	D	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護	学期	学 習 内 容	時数
教科名	国語		科目名	現代の国語																	
単位数	2	学科	看護科	学年	1年	該当するコース・科 →															
教科書・副教材・(発行所)																					
① 教科書：新編現代の国語（東京書籍） ② 副教材：新編現代の国語 学習課題ノート（東京書籍） ③ 副教材：常用漢字ダブルクリア五訂版（尚文出版）																					
学 習 の 重 点 目 標																					
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。特に実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。また、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。																					
評 価 の 基 準																					
評価の趣旨	知識・技能						思考・判断・表現						主体的に学習に取り組む態度								
	①定期考査の出来具合 教科書・副教材の内容を中心に作問 ②小テストの出来 授業で学習した内容・漢字についての小テストを実施						①学習課題ノート・課題プリント 単元毎に学習課題ノート・課題プリントを実施 ②意見発表の内容 学習活動の中で、考えを深め意見を発表する活動を実施						①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 プリント・副教材 ③自己評価・振り返り 小テストや考査後に自己評価や振り返りを実施								
評 価 の 基 準																					
知・技	A（十分満足できる状況）						B（概ね満足できる状況）						C（努力を要する状況）								
							B+			B-											
定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで概ね理解できている。						定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。			定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。			定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。									
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。						探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。						探究的な課題やグループ活動にあまり組むことができていない。								
	応用的な問題にも計画的に取り組む、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができている。						応用的な問題に取り組む、ある程度の思考力や判断力が身につけてきている。						応用的な問題にあまり取り組むことができていない。								
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。						真面目に学習に取り組んでいるが、もう少し積極性を要する部分がある。						あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。								
	振り返るべき内容を的確に捉えて表現することができ、次の取り組みに活かすことができている。						振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。						振り返るべき内容をあまり考えることができていない。								
総 時 間 数																					

第1学期	4月	1 自己を見つめる 「こそめスープ」	7
	5月	★中間考査	1
第2学期	6月	1 自己を見つめる 「ルリボシカミキリの青」	11
	7月	2 他者に出会う 「水の東西」 評論の読み方	
第3学期	8月	★期末考査	1
	9月	3 言葉と生活1 分かりやすい説明をしよう 4 視野を広げる 「スキマが育む都市の緑と生命のつながり」 「無彩の色」	14
第4学期	10月	★中間考査	1
	11月	5 社会と関わる 「鍋洗いの日々」 「森で染める人」 6 言葉と生活2 新聞記事を読んで意見文を書こう	15
第5学期	12月	★期末考査	1
	1月	7 世界とつながる 「美しさの発見」	14
第6学期	2月	8 未来に目を向ける 「真の自立とは」	
	3月	★期末考査	1
総 時 間 数			66

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	D	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護	学期	学 習 内 容	時数		
教科名	公民		科目名	公共																			
単位数	2	学科	看護科	学年	1年	該当するコース・科 →															●		
教科書・副教材・(発行所)																							
① 教科書：公共（実教出版704） ② ③ ④																							
学 習 の 重 点 目 標																							
考察・選択・判断のための手掛かりとなる概念・理論を理解し、諸資料から必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。また、現実社会の諸課題の解決に向けて、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。さらに、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを																							
	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度																
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 教科書、授業プリントの内容を中心に作問			①レポートの内容 探究課題レポートを実施			①授業中の態度や意欲						第1学期	4月 5月	第1部 第1章社会を作る私たち	6							
	②小テストの出来具合 学習した内容について小テストを実施			②グループ活動・発表の内容 探究課題についてグループ活動を実施			②提出物の内容 ③自己評価 章ごとに振り返りを実施										第2学期	6月 7月	★中間考査	1			
評 価 の 基 準																							
	A (十分満足できる状況)			B (概ね満足できる状況)			C (努力を要する状況)																
				B+			B-																
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解できている。			定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。			定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。			定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。						第2学期	8月 9月	第3章他者とともに生きる 第4章民主社会の倫理 第5章民主国家における基本原理 第2部 1 現代の民主政治と日本国憲法 第1章日本国憲法の基本的性格	2 2 6 2				
													第3学期	10月 11月	★中間考査					1			
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを发表或し、適切に表現することができている。			探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。			探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。									第3学期	12月 1月	第2章日本の政治機構と政治参加 第2部 2 現代の経済社会と国民生活 第1章現代の経済社会	6 6				
	各授業時間で学んだ内容について、多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断する力を身に付けることができている。			各授業時間で学んだ内容について、ある程度多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断する力が身に付いてきている。			各授業時間で学んだ内容について、多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断することがあまりできていない。						第3学期	2月 3月	第1章現代の経済社会					7			
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。			真面目に学習に取り組んでいるが、もう少し積極性を要する部分がある。			あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。									第3学期	2月 3月	★期末考査	1				
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。			振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。			振り返るべき内容をあまり考えることができている。						第3学期	2月 3月	★期末考査					1			
総 時 間 数																					63		

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期	学 習 内 容	時数		
教科名	理科		科目名	科学と人間生活																		
単位数	3	学科	看護科	学年	1年	該当するコース・科 →																
教科書・副教材・(発行所)																						
① 教科書：科学と人間生活703（啓林館）																						
② 副教材：科学と人間生活の学習ノート 書き込み式傍用問題集（啓林館）																						
③																						
④																						
学 習 の 重 点 目 標																						
自然と人間生活とのかかわり及び科学技術が人間生活に果たしてきた役割について、身近な事物・現象に関する観察、実験などを通して理解させ、科学的な見方や考え方を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。																						
知識・技能							思考・判断・表現							主体的に学習に取り組む態度								
評価の趣旨	①定期考査 副教材の問題を中心に作問し、何を理解しているか、何ができているかを評価する。							①レポートの作成・提出 単元ごとに探求レポートを実施する。							①授業中の態度、発言や記述の内容							
	②小テスト 普段の学習の過程を通じた知識及び習得状況について評価を行う。15分～20分程度。							②グループでの話し合い・発表・相互評価 単元ごとにグループ活動を実施する。							②提出物の内容 プリントや副教材の問題集の出来具合（すべての問題ができているか、答え合わせややり直しなどができているかなど）。							
							①、②を通して知識や技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を評価する。							③振り返り・自己評価 定期考査や小テスト、グループ活動後に自己の学習を自己評価してより主体的に学ぼうとする姿勢があるか。								
評 価 の 基 準																						
A（十分満足できる状況）							B（概ね満足できる状況）							C（努力を要する状況）								
							B+			B-												
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本的な概念や原理・法則などを理解することができている。また、基本問題よりも高度な解決能力を要する問題にも対応できる。							定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。			定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。				定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な概念や原理・法則などをあまり理解することができている。							
思・判・表	探求レポートやグループ活動に能動的に取り組む、自分の考えや意見を発表したり、適切に表現できる。							探求レポートやグループ活動に取り組む、ある程度自分の考えや意見を発表したり、表現できる。							探求レポートやグループ活動にあまり取り組むことができていない。							
	発展・応用的な問題にも、筋道をたてて考える力や図やグラフなどを読み取り情報を活用する力を身につけることができる。							発展・応用的な問題に対して、さまざまな知識を活用して思考、判断することができる。							発展・応用的な問題にあまり取り組むことが出来ない。							
主体性・態度	自然の事物・現象に主体的に関わりや見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探求しようとしている。							自然の事物・現象に関わりや見通しをもったり振り返ったりすることができる。							自然の事物・現象に関わりや見通しをもったり振り返ったりすることがあまりできない。							
	毎回の授業に真剣に取り組む、提出物の出来具合も非常に良い。また、授業での積極的な発言やグループ活動での振り返りが見られるなど主体的に学習に取り組む態度が見られる。							毎回の授業に真剣に取り組む、提出物も出ており満足できる内容である。授業での発言やグループ活動へ臨む姿勢の積極性がもう少し必要である。							毎回の授業に対する姿勢や態度があまり前向きでない。提出物の内容も不十分であり、取り組みが雑でやや熱心さに欠ける。授業での発言やグループ活動へ臨む姿勢の積極性がもう少し必要である。							
総 時 間 数																			92			

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	進	特	進	進	特	特	看	学期	学 習 内 容	時数		
教科名	外国語【英語】		科目名	英語コミュニケーションI						D	学	進	進	進	進	進	進	進	進	第1学期	Lesson1 Enjoy Your Journey!	11
単位数	4	学科	看護科	学年	1年	該当するコース・科 →						●	●	●	●	●	●	●	●		4月 5月	
教科書・副教材・(発行所)																						
① LANDMARK Fit English Communication I (啓林館) ② LANDMARK Fit English Communication I WORKBOOK (啓林館) ③ ④																						
学 習 の 重 点 目 標																						
基本的な文法事項を理解し、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、自分の意見や考えを表現し、コミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指す。																						
知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度																
評価の趣旨	小テスト及び定期考査による合計得点で評価する。授業内で取り上げた内容とワークブックから出題する。			提出物の出来具合や授業内での発言やグループ活動での発表内容で評価する。			提出物の提出状況や授業内での発言や授業への参加などの積極性を評価する。			第2学期		8月 9月		Lesson 4 Eco-Tour on Yakusima		15						
評 価 の 基 準																						
A (十分満足できる状況)			B (概ね満足できる状況)			C (努力を要する状況)			第3学期		10月 11月		Lesson 5 Bailey the Facility Dog		15							
																	B+			B-		
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基礎を理解し、それを応用することができる。			定期考査と小テストの合計が55~79点であるとき。			定期考査と小テストの合計が30~54点であるとき。			定期考査と小テストの合計が30点未満であり、学んできた事項の基本的な知識があまり定着していないとき。			第3学期		12月 1月		Lesson 8 The Best Education to Everyone, Everywhere Part 1 Part 2		12 6 6			
思・判・表	グループ活動や発表で積極的に発言でき、自分の意見をわかりやすく述べることができる。			課題の内容で不正確な部分はあるが、学んだ事項を使いながら、正しい文章を作ろうとしているとき。			課題や提出物に取り組めておらず、授業内でも既習事項の適切な表現を使うことができていないとき。			第3学期		2月 3月		Lesson 8 The Best Education to Everyone, Everywhere Part 3 Part 4		12 6 6						
主体性・態度	提出物が期限内に提出されており、自己の学習内容が定着していると考えられるとき。			提出物を最終提出期限内に提出できている。既習事項が定着していると思われるとき。			提出物が提出されておらず、自己の学習が定着していることが見受けられないとき。			第3学期		2月 3月		Lesson 8 The Best Education to Everyone, Everywhere Part 3 Part 4		12 6 6						
			授業内での発言をためらう傾向にあるが、授業やペア、グループでの活動に参加しようとしている。			ペアワークやグループ活動や発表にあまり積極的でない。参加しようという意欲が見られない。																
										総 時 間 数										100		

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C	D	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護	学期	学 習 内 容	時数	
教科名	芸術		科目名	音楽 I															
単位数	2	学科	普通科	学年	1年	該当するコース・科 →	●	●	●							●			
教科書・副教材・(発行所)																			
① MOUSA I ② 音楽の研究プリント ③ ワークプリント ④ クロムブック																			
学 習 の 重 点 目 標																			
音楽の幅広い活動を通じて、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる基礎的な資質・能力を育成する。																			
	知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度										
評価の趣旨	曲想と音楽の構造か歌詞、文化的・歴史的背景などの関わりと音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能や知識が身についているか評価する。【実技試験】【定期試験】				自己のイメージをを持って音楽表現や創意工夫することや、音楽を評価しながら良さや美しさを自ら味わって聴くことが出来ているか評価する。【レポート】【実技試験】				主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しもうとする態度について評価する。【レポート】【授業態度】										
	評 価 の 基 準																		
	A (十分満足できる状況)				B (概ね満足できる状況)				C (努力を要する状況)										
					B+		B-												
知・技	基本的な知識や技能が十分に身についており、高い理解力がある。				基本的な知識や技能が概ね身についている。		基本的な知識や技能がある程度身についている。		基礎的な知識や技能、理解力が不足しており、実技発表に反映できていない。										
	思・判・表	演奏方法を工夫しながら知識や技術を十分に身につけることができている。				演奏方法を工夫しながら知識や技術のある程度身につけることができている。		演奏方法を工夫しながら知識や技術のある程度身につけることができている。		演奏発表をきちんと行うことができず、知識や技術を身につけることができている。									
楽譜等の教材にあるさまざまな情報から積極性の高い演奏表現や鑑賞表現ができている。				楽譜等の教材にあるさまざまな情報から、ある程度の演奏表現や鑑賞表現ができている。		楽譜等の教材にあるさまざまな情報から、ある程度の演奏表現や鑑賞表現ができている。		教材にあるさまざまな情報を読み取ることができず、演奏表現や鑑賞表現ができている。											
主体性・態度	積極的に楽曲鑑賞に取り組む姿勢が見られる。				楽曲鑑賞にある程度取り組む姿勢が見られる。		楽曲鑑賞にある程度取り組む姿勢が見られる。		楽曲鑑賞に取り組もうとする姿勢が見られない。										
	積極的に楽曲演奏・創作活動に取り組む姿勢が見られる。				楽曲演奏・創作活動にある程度取り組む姿勢が見られる。		楽曲演奏・創作活動にある程度取り組む姿勢が見られる。		楽曲演奏・創作活動に取り組もうとする姿勢が見られない。										
総 時 間 数																			65

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	進	特	進	進	特	特	看	学期	学 習 内 容	時数		
教科名	芸術		科目名	美術						D	学	進	文	理	文	理	護					
単位数	2	学科	普通科	学年	1年	該当するコース・科 →				●	●							●	第1学期	4月	・ミーティング 【絵画】スケッチ 【デザイン】ポスター制作 【デザイン】文字のデザイン	1 1 2 3
教科書・副教材・(発行所)																				5月	【鑑賞】作品鑑賞	1
学 習 の 重 点 目 標																			第2学期	6月	【絵画】スケッチ 【デザイン】線の模様 【デザイン】デジタル練習1	1 5 3
美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を学び、育成することを目指す。																				7月	【課題】レポート	1
知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度												第3学期	8月	【絵画】スケッチ 【デザイン】アニメーション 【デザイン】デジタル練習2	1 6 3	
評価の趣旨	①作品の出来具合（作品完成度） ②レポートの出来具合			①作品の表現力（独創的・オリジナリティ） ②作品制作の進捗具合			①授業態度（教師の観察） ②学習意欲（制作進捗度合い） ③提出物等													9月	【鑑賞】作品鑑賞	1
	評 価 の 基 準																			第4学期	10月	【絵画】スケッチ 【工芸】連続する模様 【デザイン】デジタル練習3
A（十分満足できる状況）			B（概ね満足できる状況）			C（努力を要する状況）													11月		【課題】レポート	1
知・技	基本的な知識や技術が十分に理解できており、作品を作ることができる。			基本的な知識や技術が理解できており、作品を作ることができる。			基本的な知識や技術がある程度理解できており、作品を作ることができる。			基本的な知識や技術、理解力が不足し、作品を作ることができていない。												
	思・判・表	作品を計画的に考えながら制作し、知識や技術を身に付けることができる。			作品をある程度、計画的に考えながら制作し、知識や技術を身に付けることができる。			作品を計画的に制作することができず、知識や技術を身に付けることができていない。												12月	【絵画】スケッチ 【デザイン】コラージュ（構図を工夫する） 【デザイン】デジタル練習4	1 9 3
主体性・態度		自分の考えを独創的・オリジナリティをいかして表現することができる。			自分の考えをある程度、表現することができる。			自分の考えを思い通りに表現することができていない。												1月	【鑑賞】作品鑑賞	1
	積極的に鑑賞の創造活動を進んで取り組もうとしている。			鑑賞の創造活動にある程度、取り組もうとしている。			鑑賞の創造活動に取り組もうとしていない。													2月	【絵画】スケッチ 【課題】レポート	1 1
積極的に作品作りを進んで取り組んでいる。			制作において、積極性を要する部分がある。			前向きな気持ちで制作に取り組めていない。													3月			
										総 時 間 数										60		

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科名	科目名	単位数	履修形態	対象の学科・学年・コース	学期	学 習 内 容	時数
看護	看護情報	2	必修	看護科 1年	第 1 学期	1章情報で問題を解決する ・情報とメディアの特性 ・情報モラル ・著作権 ・ワープロソフトの基礎	1 1 1 8
教科書・副教材・(発行所)							
① 新編 情報 I (東京書籍) ② 新編 情報 I 資料ノート (東京書籍) ③ ④ ⑤							
学 習 の 重 点 目 標							
(1) 情報を収集・処理・発信するための基礎的な知識と技能を習得する。 (2) 看護情報について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につけるようにする。 (3) 看護情報に関する基本的な課題を発見し、看護の職業倫理を踏まえて合理的かつ創造的に解決する力を養う。 (4) 看護情報について、よりよい看護の実践を目指して自ら学び、人々の健康に関する課題解決に主体的かつ協動的に取り組む態度を養う。							
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
評 価 の 趣 旨	①定期考査 期末考査80点 ②実技テスト タイピング、文章作成、表計算、 スライド発表	①課題の内容 ②グループワーク・発表の内容	①授業中の態度や意欲 ②ふり返り				
	評 価 の 基 準						
	A (十分満足できる状況)	B (概ね満足できる状況)		C (努力を要する状況)			
		B+	B-				
知・技	定期考査と確認テストの合計得点が80点以上であり、基本的な知識の理解することができている。	定期考査と確認テストの合計得点が55～79点である。	定期考査と確認テストの合計得点が30～54点である。	定期考査と確認テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり			
思・判・表	課題に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、わかりやすくまとめることができる。	課題に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、まとめることができる。	課題に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、伝えることができる。	課題にあまり取り組むことができていない。			
主体性・態度	予習・復習に取り組み、授業にも積極的に発言し参加できている。	予習・復習に取り組み、授業に参加できている。	あまり前向きな気持ちで授業に取り組めていない。				
	毎時間ふり返りができ、授業のポイントについて適切な内容を表現することができている。	授業の内容についてふり返りができている。	授業の内容についてふり返りができていない。				
				第 2 学期	8月 ～ 9月	3章コンピューターを活用する ・プログラムの基本構造 ・発展的なプログラム ・表計算ソフトの基礎	2 2 10
				第 3 学期	10月 ～ 11月	4章データを活用する ・インターネットのしくみ ・情報セキュリティ ・データベースの活用 ・表計算ソフトの応用	1 1 1 11
				第 3 学期	12月 ～ 1月	5章活用して提案する ・プレゼンテーションソフトの基礎・応用	11
				第 3 学期	2月 ～ 3月	*看護における情報の活用と管理 ・保健医療福祉分野の情報 ・情報システムの特徴 ・情報の活用 ・情報の管理	2 1 1 1
						期末考査	1
総 時 間 数							68

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	進	特	進	進	特	特	看	学	学 習 内 容		時	
教科名	看護			科目名	人体の構造と看護					D	進	特	進	進	特	特	看	学			数	
単位数	3	学科	看護科	学年	1年	該当するコース・科 →																
教科書・副教材・(発行所)																						
① 教科書：看護学入門1 人体のしくみと働き (メヂカルフレンド社) ② 教科書：看護学入門2 栄養 (メヂカルフレンド社) ③ ④																						
学 習 の 重 点 目 標																						
看護の見方・考え方を働かせ、人体の構造と機能に関する実践的・体験的な学習活動を通して、看護実践に必要な資質・能力の育成を目指す。																						
①人体の構造と機能について体系的・系統的に理解するようにする。																						
②生活行動や健康の基本的な課題を発見し、看護の職業倫理を踏まえて合理的かつ創造的に解決する力を養う。																						
知識・技能			思考・判断・表現					主体的に学習に取り組む態度														
評価の趣旨	①定期考査80点 1、2学期 中間40点 期末40点 3学期 期末80点			①課題レポート内容 単元毎にレポート課題を提出 ②グループワーク・発表の内容 学習の内容をまとめ、発表する					①授業態度や意欲 ②レポートの提出状況 ③ノート・ファイル提出状況 ④BLENDでの学習の振り返り													
	②小テスト20点 単元毎に小テストを実施する																					
評 価 の 基 準																						
A (十分満足できる状況)			B (概ね満足できる状況)					C (努力を要する状況)														
			B+		B-																	
知・技	定期考査と小テストの合計点数が80点以上であり、基本から発展まで満遍なく理解ができている。			定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。		定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。			定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。													
思・判・表	レポートに課題を適切にまとめ、適切に表現することができる。			レポートに課題をまとめることはできている。					レポート提出に遅れが見られ、内容にも不足が多い。													
	グループワークに積極的に取り組み、自分の考えを伝えたり、周囲への働きかけができている。			真面目にグループワークに取り組む、自分の意思を伝えようと努力している。					グループワークにあまり積極的に取り組むことができない。													
主体性・態度	予習・復習に積極的に取り組み、授業にも積極的に発言し参加しようとしている。			予習・復習に真面目に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。					あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。													
	振り返るべき内容を考えて表現することができ、次の取り組みに活かすことができている。			振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにはあまり活かしていない。					振り返るべき内容をあまり考えることができない。													
																		総 時 間 数		99		

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	進	特	進	進	特	特	看	学	学 習 内 容		時																				
教科名	看護			科目名	疾病の成り立ちと回復の促進					D																															
単位数	1	学科	看護科	学年	1年	該当するコース・科 →																																			
教科書・副教材・(発行所)													学	学 習 内 容		時																									
① 新看護学入門 4 疾病の成り立ち (メヂカルフレンド社)													第 1 学 期	4月	第1章 疾病の成り立ちを学ぶ ・病理学の範囲	3 1																									
②														5月	第2章 疾病の成り立ち (病気の考え方、病気の種類とその要因)																										
③														5月	第3章 先天異常 ・定義、分類、発生機序、代表的疾患																										
④															中間考査																										
学 習 の 重 点 目 標													第 2 学 期	6月	第4章 退行性病変と進行性病変 I 退行性病変 (壊死、アポトーシス、萎縮、変性)	6 1																									
看護の見方・考え方を働かせ、疾病の成り立ちと回復の促進に関する実践的・体験的な学習活動を行うことを通して、看護の実践に必要な資質・能力を次の通りに育成することを目指す。 (1) 疾病の成り立ちと回復の促進について体系的・系統的に理解するようにする。 (2) 基本的な課題を発見し、看護倫理を踏まえて合理的かつ創造的に解決する力を養う。 (3) よりよい看護実践を														7月	第5章 循環障害 I 循環障害とは 期末考査																										
評 価 の 基 準													第 3 学 期	8月	II 循環障害 III 局所循環障害① (充血、うっ血、虚血、側副循環、出血)	3 1 6 1																									
知識・技能														9月	中間考査																										
思考・判断・表現														10月	IV 局所循環障害② (血栓症、塞栓症、梗塞)																										
主体的に学習に取り組む態度														11月	V 水及び電解質代謝異常 (浮腫、脱水) VI 全身的な循環障害 (ショック、高血圧症、心不全)																										
評 価 の 趣 旨	①定期考査 1・2学期…中間考査40点 期末考査40点 3学期…期末考査80点 ②確認テスト20点 前回の授業内容について出題				①課題 (ワークプリント) の内容 单元ごとに授業内容に関する 課題 (ワークプリント) を実 施・提出 ②グループワー ク・発表の内容 探究課題についてグループ ワークを実施				①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 授業プリント、ワークプリン トは指定通りファイルに綴じる ③ふり返り 单元ごとに実施する自己評価 ふり返り課題の提出状況やふ り返り内容を評価				12月	第6章 炎症 (炎症とは、炎症の過程、炎症性細胞の 種類、炎症の経過、炎症の分類)	5																										
	A (十分満足できる状況)													1月		第7章 腫瘍(腫瘍とは、腫瘍の種類 (分類・原因・ 診断法・病期/進行度・腫瘍マーカー)																									
B (概ね満足できる状況)													第 3 学 期	2月	第7章 腫瘍(腫瘍とは、腫瘍の種類 (分類・原因・ 診断法・病期/進行度・腫瘍マーカー) 残り	2																									
B+														3月	期末考査																										
B-													総 時 間 数		30																										
C (努力を要する状況)																																									
知・技	定期考査と確認テストの合計得 点が80点以上であり、基本的な 知識の理解することができてい る。				定期考査と確認 テストの合計得 点が55~79点で ある。				定期考査と確認 テストの合計得 点が30~54点で ある。																																
思・判・表	課題に積極的に取り組み、自分 の考えを発表したり、わかりや すくまとめることができる。				課題に取り組み、ある程度自分 の考えを述べたり、まとめるこ とができる。				課題にあまり取り組むことがで きていない。																																
主 体 性 ・ 態 度	グループワークに積極的に取り 組み、自分の考えを発表したり、 わかりやすく伝えることができ る。				グループワークに取り組み、あ る程度自分の考えを述べたり、 伝えることができる。				グループワークにあまり取り組 むことができていない。																																
予習・復習に取り組む、授業に も積極的に発言し参加できてい る。													予習・復習に取り組む、授業に も積極的に発言し参加できてい る。													予習・復習に取り組む、授業に も積極的に発言し参加できてい る。															
毎時間ふり返りができ、授業の ポイントについて適切な内容を 表現することができる。													授業の内容についてふり返りが できている。													授業の内容についてふり返りが できていない。															

